



Web Fairy Paradise

第26号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第25回WFPフェアリー作品展
- ・ 推理将棋36回出題
- ・ OFM 第162回出題
- ・ Fairy of the Forest #24
- ・ JIGSAW BOX #5
- ・ この詰将棋はすごい？問題編

結果発表

- ・ 第24回WFPフェアリー作品展
- ・ OFM 第161回出題
- ・ 推理将棋第35回出題
- ・

読み物

- ・ 妖精賞の系譜（13）
- ・ 1手詰？コンクール追記



2010/8

はじめに

35℃を越える日が続いていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。今回お盆を跨いだ事もあり原稿の到着が遅れまして発行が遅れてしまいました。楽しみにお待ちいただいていた方々、大変申し訳ありませんでした。

今月22日に松山にて詰四会を開催いたしました。参加者は5名と少なめでしたが詰将棋をたくさん解図し、楽しい話をたくさんして有意義な時間を過ごして来ました。ただ私にとって残念な事は、フェアリストが私の他にいない事です。以前は岡山在住の伊達君が来てくれましたのでまだ相手をしてくれましたが、京都に行ってからなかなか来れないので一人寂しく普通詰将棋に取り組んでいます。岩本さんはおられますが最近は全然との事。香龍会には詰パラ8月号の作品展にばか詰出題されている内田昭さんが来られているとの事で、行ってみたい気はしています。岩本さんにお聞きすると隣の老人Bさんとたしか1度お会いした事があると言われておりましたので、いつか機会があればと思っています。まあ推理ストの皆さんや橋本さんにお会いする為に詰工房にいつか行きたいですねえ～と何年も前から言っているくせに実現していないことを考えればいつのことになるのやらです。

話は変わりますが、今mixi上での話題から、かつて詰パラフェアリーランドに掲載された阪神半疑作（故喜多真一さん）の取禁ばか自殺詰の手数短縮をmixi上で挑戦して欲しいとnaoさんが声掛けしています。

命名「阪神半疑の見た夢」

先手は3手目から後手玉に王手を掛け続けたが、最後は逆王手で詰まされた。

ただし、双方駒を取る手はなかった。

どんな将棋だったのか最短手数探索問題として推理して下さい。はたして最短手数は何手でしょうか。

作意は108手（同手数の余詰をnaoさんが当時指摘されました）ですが、naoさんは作者より106手解があると聞いたとの事。あと2手短縮は可能か？私も考えていますがどなたか挑戦してみてください。

【募集】

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第26号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

* ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

イラスト・素材提供：幻想素材サイトFirst Moon

<http://www.first-moon.com/>

* 表紙のイラストを使用させて頂いております。

第 25 回 WFP 作品展 担当 紅月花煉

[作品投稿要項]

- 1) 作品投稿は随時受け付けています
- 2) ルールは不問です。フェアリー系ルールならばかしこでも可です(安南詰 etc)
- 3) FM 等で検討済みの場合はその旨を付記して下さい
- 4) FM 等で検討出来ない場合は検討の手伝いをします

[解答要項]

解答締切：平成21年 9 月 15 日

本作品展は、正式発表とし TOP IX の対象となります。また解答のコメントは結果発表にて掲載いたしますのでご了承下さい

作品投稿及び解答は

webfairyparadise_you@yahoo.co.jp

をお願いします

余詰・近況報告は

<http://circe-pro.cocolog-nifty.com/blog/>

で行っています。確認の上、解答下さい

ルール説明

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方玉を詰ます

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方玉を詰ます

【キルケ】

1. 駒が取られると最も近い将棋での指し始め位置に駒が戻される。戻せないときは持駒になる。但し、玉には適応されない
2. 戻す位置が 2 つある場合(5筋の金銀桂香) 戻す位置の選択は取った側が行う
3. 成駒は生駒として復活する。と金が復活して二歩になる場合は、復活できずに持駒になる

【対面】

敵駒と向かい合うと、互いに利きが入れ替わる

【Messigny】

- 1 盤上に置かれている双方の同種の駒(玉を含む。成駒は別種の駒として区別する)は 1 手でその位置を交換することができる
2. 交換する時に駒を裏返すことは出来ない
3. 行き所のない駒や、二歩が発生するような交換は禁手
4. x と y の位置にある駒を交換する着手を y / x で表す

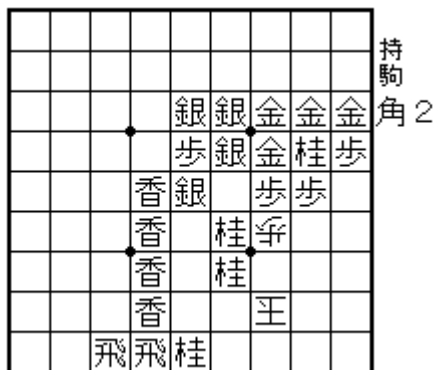
【前置き】

4～8 迄は詰上り位置指定です。悪しからず

【妖精】

【第壹番】 雲海氏作

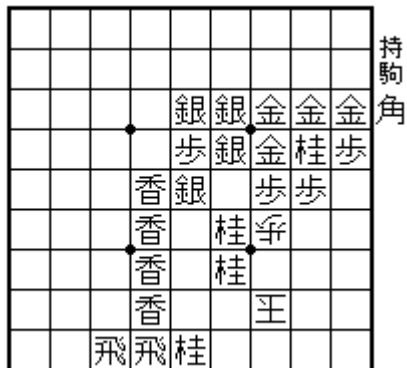
協力詰 47手



【第貳番】

雲海氏作

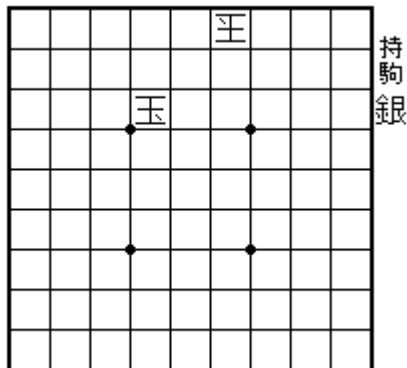
協力詰53手



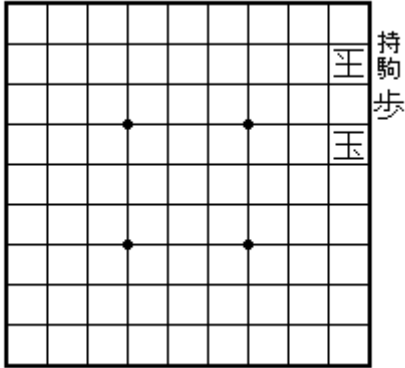
【第参番】

たくぼん氏作

対面キルケ協力自玉詰14手

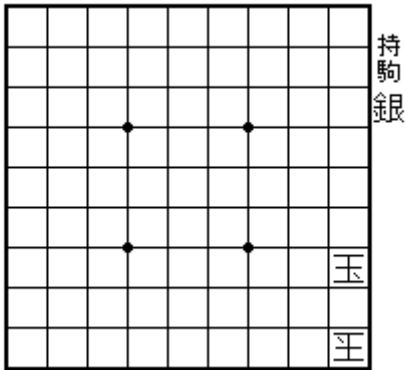


【第四番】 神無太郎氏作
Messigny 協力詰33手



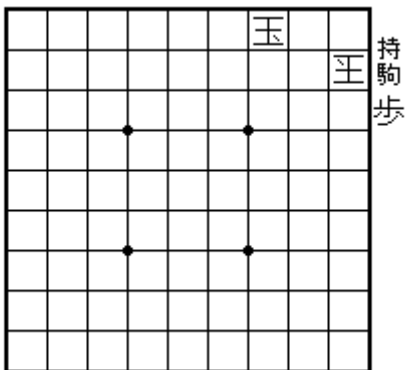
* 詰上り位置81

【第五番】 神無太郎氏作
Messigny 協力詰35手



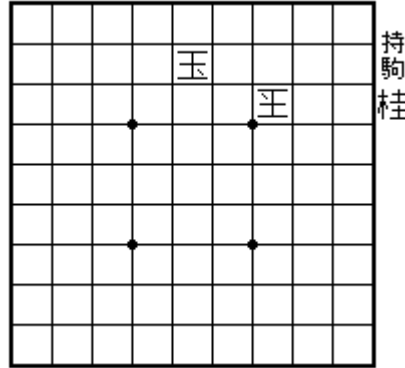
* 詰上り位置81

【第六番】 神無太郎氏作
Messigny 協力詰35手



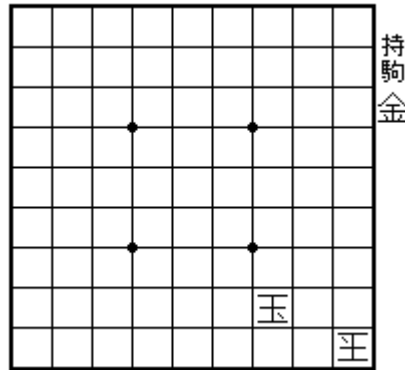
* 詰上り位置19

【第七番】 神無太郎氏作
Messigny 協力詰35手



* 詰上り位置99

【第八番】 神無太郎氏作
Messigny 協力詰37手



* 詰上り位置99

開催日 : 2010年 8月 16日(月)
 解答締切 : 2010年 9月 6日(月)
 解答発表 : 2010年 9月 7日(火)

神無七郎 作

キルケ協力自玉スタイルメイト 22手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
		角				王		銀	三
									四
				飛					五
					王			歩	六
									七
								飛	八
									九

持駒 なし

【ルール説明】

協力自玉スタイルメイト (=ばか自殺スタイルメイト)

先後協力して最短手数で、攻方をスタイルメイトにする。

スタイルメイト

王手は掛かっているが、合法手のない状態。(本作は単玉のため、単に合法手のない状態)

キルケ

駒が取られると最も近い将棋での指し始め位置に駒が戻される。戻せないときは相手の持駒になる。

本作の解答を管理人宛

(janacek789@ybb.ne.jp) に E-mail でお送り下さい。

【コメント】

時代劇や忍者物ではしばしば「気配を消す」という場面があります。それは物音を立てずに近付くとか隠れるという形で表現されます。でも、音を消すことは存在を完全に隠蔽することにはなりません。たとえ音もなく忍び寄ったとしても、達人には察知されてしまうそうです。それはなぜでしょうか？

通常、地上に無音の場所はありません。環境騒音という数多くの雑多な音が世界には溢れています。そこに何かが存在すると環境騒音を遮るため、何も音を立てなくとも、その存在を相手に知らせてしまうのです。目の見えない人などは特に気配の察知に長けており、大きさや形が分かるだけでなく、中には材質までを言い当てることができる人もいます。

一見現代人とは無縁な「気配を消す」という行為、最近はある装置の普及で身近な現象になりました。ノイズキャンセリング機能を持ったイヤホンやヘッドホンがそれです。これは周りの騒音を逆位相の音で相殺して、音楽を快適に聴ける静寂を提供してくれる大変ありがたい装置ですが、これを使いながら散歩などしていると、横から突然車が現われて、ドキッとさせられることがよくあります。騒音と一緒に車の気配も消しているためです。車の危険を避け、歩道を歩くと今度は自転車にドキッとさせられます。ノイズキャンセリングによって、街は忍者のように気配を消して疾走する車や自転車で溢れかえる危険地域になるのです。考えてみれば、高齢などのせいで耳が悪くなった人は普段からそのような環境で生活しており、私は今それを疑似体験しているわけですね。自分も将来聴覚が衰える可能性がないとは言えませんから、運転者の安全意識が今以上に高まることを願わざるを得ません。

さて、今回の出題は「気配」ならぬ「攻方の駒」を消す問題です。この飛角の並び方を見ただけで解図意欲が減退する方もいらっしゃるかと思いますが、上手にヤマを張って解いてください。なお、検討の都合で出題が実質2日遅れましたので締切も2日ずらしています。ちょっと変則的ですが、締切日前の日曜などを活用して解答をお寄せください。

(担当：神無七郎)

JIGSAW BOX #05 出題

久しぶりにフェアリーに触れたら、どのルールもすっかりコツを忘れていました。脳機能が正常化している証拠だということで某フェアリー同人氏は祝って下さいましたが。

そんな正常化しているのか凡人化しているのか不明な人が今年も担当です。諸事情により普通詰が1題混ざっておりますので、解答者の皆様におかれましてはくれぐれもご注意下さい。

小峰耕希

<ルール説明>

【受先】初手を受方が着手する。

【キルケ】駒取りが行われたとき、取られた駒は最も近い指将棋においての初期位置に戻る。

【協力自玉詰】別称ばか自殺詰。双方が協力して最短手数で攻方を詰める。

【協力詰】別称ばか詰。双方が協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【最悪詰】攻方はなるべく相手玉が詰まないように王手し、受方はなるべく早く自玉が詰むように応ずる。

【対面】ある駒Aの1マス前方に敵駒Bがある場合、Aの性能とBの性能が入れ替わる。

★参考文献 (Webサイト) ★

Onsite Fairy Mate <http://www.abz.jp/~k7ro/>

解答締切：10月3日(日) ←多少遅れ可
結果発表：10月20日(水) ←WFP第28号に掲載

解答送付先：jigsawbox@gmail.com

(<http://fourth-of-may.cocolog-nifty.com/blog/>
に送信フォームあります)

注、第2番と第4番は受先です。

第1番 たくほん (登場11回) 対面協力詰 29手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
			馬	香					王	八
				香						九

持駒 歩5

第2番 神無七郎 (登場5回) 最悪詰 20手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	王									一
										二
			香			王	金			三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 飛歩5

第3番 たくほん (登場12回)

対面協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		飛							一
									二
	ス			ス					三
		王							四
	ス								五
		糸	ス						六
									七
									八
									九

持駒 金

第4番 たくほん (登場13回)

キルケ協力詰 16手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
						皇	糸		六
						糸	龍		七
							と		八
						ス	王	王	九

攻方持駒 なし

受方持駒 歩

第5番 神無太郎 (登場6回)

普通詰 33手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								飛	一
								糸	二
糸								王	三
									四
									五
								香	六
									七
		金				金			八
							歩		九

持駒 歩2

第6番 雲海 (登場2回)

協力白玉詰 24手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
									三	
									四	
									五	
					歩		金	歩	皇	六
					糸		歩	王		七
						王			糸	八
					龍					九

持駒 なし

Fairy of the Forest#24

■ 2010年06月18日：課題発表：使用駒七色または盤面七色（協力詰）

■ 2010年08月15日：投稿締切

■ 2010年08月18日：出題

□ 2010年09月15日：解答締切

□ 2010年09月18日：結果発表

■ 出題

今回の課題は、使用駒制限という意味で実質的に前回の握り詰と変わりませんでした。課題の設定ミス認めざるを得ません。そのせいもあってか、作品がなかなか集まらず、前回に引き続き、締切をひと月延ばす羽目になりました。おかげで、久しぶりの太郎氏および新人の洞江氏からの投稿という収穫もあったのですが。

なお、創作課題について、七郎氏から以下のような提案がありました。

神無七郎一使用駒指定系の課題は、ルール上完全な作を作るのは難しくありませんが、面白い作を作れと言われると非常に困ります。この種の課題はなるべく「余興」程度にして、多用は控えて欲しいと思います。

一つ提案をすると「Fairy of the Forest」は元々九州G由来で、名前も「森の妖精」と、森茂氏の名前を冠しています。ですから、

「Fairy of the Forest」で出す課題も森茂氏の作品にちなんだものにはいかがでしょうか？

森氏の作品は多数・多岐にわたり、その作品群からは様々なテーマが抽出可能だと思います。

有意義な案だと思いますので、採用する方向で検討したいと思います。

今回もよろしくご解答ください。締切は9月15日（水）とします。24-07 七郎氏作は「後手持駒なし」なので、ご注意ください。

（解答先）

→酒井博久（sakai8kyuu@hotmail.com）

■ 24-01 小林看空 協力詰5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
			銀						三
		歩		季					四
		王		皇					五
									六
									七
						龍			八
角									九

持駒 桂

■ 24-02 小林看空 協力詰5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

					飛				一
			皇	季					二
		季							三
			王	銀					四
									五
									六
		桂							七
									八
角									九

持駒 なし

■ 24-03 たくぼん 協力詰5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
				皇					二
		季	季						三
									四
銀		王		桂					五
角									六
									七
									八
									九

持駒 飛

■ 24-04 洞江元太 協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

							飛	王	一
							香	銀	二
						金		角	三
									四
					桂				五
									六
								飛	七
									八
									九

持駒 なし

■ 24-05 神無太郎 協力詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
							歩	王	五
							銀	王	六
						桂			七
									八
						角		飛	九

持駒 香

■ 24-06 神無太郎 協力詰 15手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

							飛	王	一
							銀	角	二
						香			三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 金桂歩

■ 24-07 神無七郎 協力詰 31手

(後手持駒なし)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一	
									二	
									三	
									四	
									五	
								王	六	
						金	歩	桂	飛	七
						銀		王		八
						角	香			九

持駒 なし

推理将棋第36回出題

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第36回出題です。はじめての方は

どんな将棋だったの? - 推理将棋入門

(http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html) をごらんください。

解答、感想はメールで2010年8月20日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メールの題名は「推理将棋第35回解答」でお願いします。

推理将棋第36回出題 担当 タラパパ

7月に開催された詰将棋の全国大会で、推理将棋のイベントがありました。

出題されたのは、dsk さん発案、ミニベロさん命名の「94問題」。

本題4問と参考出題6問で、合わせて10問でした。

「94問題」とはひと言で言えば、「○手目は□□□□」という簡潔な形式の9手4条件問題です。手数的にもとつき易く、楽しいイベントになりました。

このコーナーでもあの大会を再現すべく、ふいに思い立って、大会と同じ作者の方々に、大会とは別の94問題の提供をお願いしました。

同じように参考出題も (こちらは解答される必要はありません)。

36-1 初級 DSK さん作
わが道を行く 9手

止めは駒打ちしかなさそうですが、どこに何を?

36-2 中級 DD++さん作
ゴテゴテした推理将棋 9手

8手目に着目して、想像を巡らせてください。

36-3 上級 ミニベロさん作
急所は駒頭 9手

自駒頭も相手駒頭も「駒頭」。最後は先手の歩頭ですが他は?

追加ヒントです (8月16日 タラパパ)

初級: 先手の角がどう動くかをまず推理して下さい。止めは角か桂を打つ手。

中級: 意外に難問。後手の着手の一つは「駒を打つ手」です。

上級: 9手目の歩頭の駒打ちは、大駒ではありません。

36-1 初級 DSK さん作
わが道を行く 9手

(条件)

- ・ 9手で詰み
- ・ 2手目は42飛
- ・ 4手目は5筋
- ・ 5手目は22角成
- ・ 7手目は21馬

36-2 中級 DD++さん作
ゴテゴテした推理将棋 9手

(条件)

- ・ 9手で詰み
- ・ 2手目は歩の手
- ・ 4手目は金の手
- ・ 6手目は飛の手
- ・ 8手目は角の手

36-3 上級 ミニベロさん作
急所は駒頭 9手

(条件)

- ・ 9手で詰み
- ・ 3手目は歩頭
- ・ 4手目は玉頭
- ・ 6手目は歩頭
- ・ 9手目は歩頭に駒打ち

解答不要 上級 タラパパ作
順番に大駒 9手

(条件)

- ・ 9手で詰み
- ・ 3手目は3筋に大駒
- ・ 4手目は4筋に大駒
- ・ 7手目は5筋に大駒
- ・ 9手目は6筋に大駒

『この詰将棋がすごい! 2010年度版』入手。
さっそく自作の解説部分を読む。山田さん、えらい褒めてくれているなあ、と嬉しくなる。
さっそく、娘に自慢してみる。

太郎「ここ読んでみそ」

ハズ「神無太郎氏もベテランの域に入った・・おじじってことだら?」

太郎「ファンを魅了して止まない・・おとうのファンがいるら」

ハズ「おとうのファンじゃなくて、詰将棋のファンだら」

太郎「熟練の技って書いてある」

ハズ「やっぱりおじじじゃん!」

太郎「完成品だって」

ハズ「斬新さはないって書いてあるら。

おとう、ポジティブ過ぎだらあ」

太郎「ぬぬ。じゃ、斬新なやつを1題」

『この詰将棋はすごい?』

- ・ 3×3の範囲に収まる配置。
- ・ 持駒は18枚。
- ・ 手数は72手。
- ・ 割と普通のルール。
- ・ 『なんとかきんきんなんとか』という条件を付加すると、手数は4倍強になる。

さて、どんなフェアリー詰将棋でしょうか?
もちろん完全作です。

解答宛先: 神無太郎 (sgr03057@nifty.com)

解答締切: 2010年9月15日

※ いいかげんな、あるいは中途半端な問題ですみません。検討らしい検討はしていないので、潰れている可能性は普通にあります。

※ その上、答えも完全に限定できているわけではありません。非限定の範囲は超えていますので、余詰かどうかは、まあ適当に判断してください。

※ なお、問題の前段は事実に基づいています。ただし、嫁さんのとどめの一撃はフェアリー界のためを思って割愛しました。

【解答者】 4名

【4題正解者】

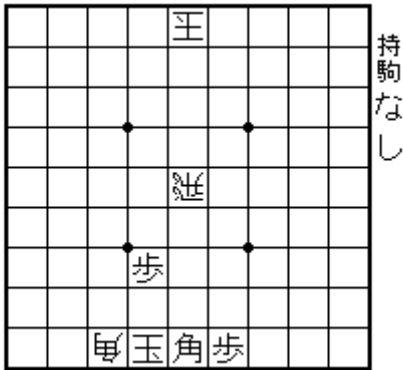
雲海氏 神無七郎氏 隅の老人B氏たくぼん氏

【前置き】

出題稿ではスペースが微妙だったのでこっちで書いておきます。25回出題は非常にアンバランスです。頑張ってください。メッシーニはばらばらに出題しようかと思ったら連作だという事なので同時出題となりました。雲海氏作も姉妹作です。なので、はからずとも姉妹作特集みたいな感じになりました。さて、今回で2年目になります。色々、何か言い事を書こうと思ひ、考えた結果何も書けそうにないという結論です

(いや、原稿遅らせて迄何をやっているんだろうか…) さて、そんなこんなで制約ではありませんが「盤面が非対称になるルール」(具体的にはキル・アンチキルケみたいなもの)という形で次回特集を適当に組んでみたいなあと思います。別にそれ以外でも可です。単なる思い付きですので。通常対称なのにルール付加で非対称になるというのは個人的に初めてみた時凄く感動しました。何の脈絡もなかったですが今月の結果稿です

【第壹番】 雲海氏作 鏡協力白玉詰 8手



【作意】

95角 15玉 51角成 16玉 15馬 49玉 59馬
同飛生 迄8手

【作者コメント】

第21回WFP作品展のシン氏作の作者コメントを読んで「1回転は出来るのでは？」と思いました。ということで1回転です。どうせならと、このルールらしく手数にはMin、軌跡が描く面積はMaxにしました。角が途中から馬になっているので多少インチキが入っていますが(笑)

【担当者コメント】

角→馬ですが一回転です。分かりやすいですので特に言う事ないですが簡潔な図で巧く仕上がっています

【短評】

神無七郎氏：

角が馬になって戻る明快なストーリーですが、ちょっと単調でしょうか。まあ、そう言いつつ最初は飛合の紛れを読んだのですが

隅の老人B氏：

夜道の散歩、何かが後ろから付いてくる、恐いなあ

たくぼん氏：

雲海さんだけに角が一周すると決め打ち。名前で解けるとは・・・

【第貳番】 たくぼん氏作 強欲協力詰91手



【作意】

45龍 同と 68桂 67玉 76龍 同金 58銀
78玉 69銀 同金 79歩 同玉 76桂 46と
88角 同玉 87と 同玉 97金 76玉 75と
同玉 86金 64玉 75金 55玉 65金 44玉
55金 43玉 33と 同金 44金 42玉 33金
同玉 23金 同玉 14と 同玉 15歩 13玉
14銀 24玉 25銀 15玉 16銀 同玉 17香
同金 27銀 同玉 28歩 同金 18銀 38玉
29銀 49玉 38銀 48玉 49銀 47玉 48歩
37玉 38歩 同金 同銀 48玉 49金 57玉
58金 66玉 67歩 56玉 47金 同と 同銀
67玉 58銀 66玉 67歩 77玉 78歩 同玉
69銀 67玉 58銀 68玉 69歩 59玉 49金
迄 91手

【作者コメント】

煙詰と思って創っていたらよく見ると詰上り4枚でした(笑) テトリスのブロックのあぶり出

しということに変更です。最後がちょっと粘ります

【担当者コメント】

王手が続くように手を紡げばいいのでそれ程難しくないと思います。流れるように手が続く中、収束で道中で入手した歩を利用して収束するのが綺麗だと思います

【短評】

雲海氏：

今までの強欲煙と違い、本作は異質な感じを受けました。今までになかった手順を目指したのでしょうか？また収束の雰囲気それまでの手順の雰囲気が異なったのが少し戸惑いました。それにしても難しかった・・・

神無七郎氏：

この位置で小駒で詰ますには4枚必要ということで、これも煙詰ということでしょうか。駒の密集度が高い初形を見ると、このルールで「月蝕」のような全駒密集形煙も可能な気がします

隅の老人B氏：

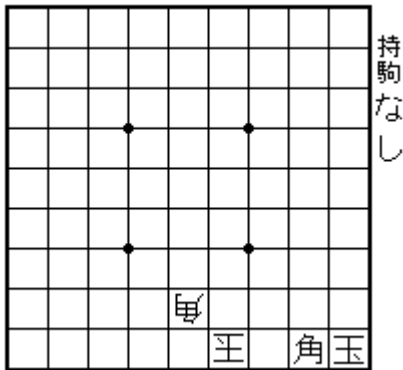
解けて爽やか、生ビール。予想も当たった煙詰。この暑さ、解答書きが鬱陶しい。書いたのは中抜き、始めと終わりの10手だけ。どうせ書いても、この暑さ。紅月さんも調べない

たくぼん氏：

終盤ちょっとややこしいかもしれません。伏線が入らなかったのが心残り

【第参番】 神無太郎氏作

Messigny 協力自玉詰10手



【作意】

58角 /29 角 38玉 29角 /58 角 27玉 18角
同角 /58 角 49角 38飛 18角 /49 角 同飛成
迄 10手

【担当者コメント】

最初の5手は一本道なので事実上5手です。此処で逃げる手遠ざける事になるので交換する1手。すると角が2間以上離れるので合駒が取れて自殺できるという仕組みです。細かい交換で合駒を稼ぐスペースを作る仕組みが面白いです

【短評】

雲海氏：

飛を発生→角を取らせる、の手順までに何回も交換を繰り返すところが面白いです

神無七郎氏：

最後4手の局面に来てはまだ詰む気がしませんでした。普通は角に対する合駒を動かすには、玉を移動させたりして1手挟む必要があるのですが、Messignyではそれも必要ない場合があるのですね

隅の老人B氏：

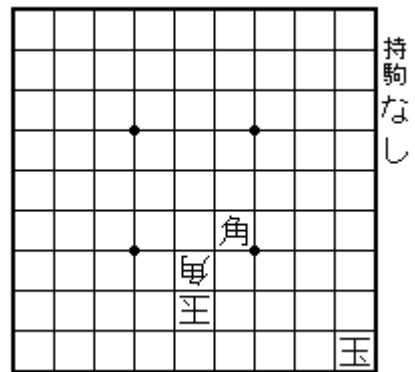
飛合に気付けばですが、これがなかなか難しい。蚊帳の中、解けて嬉しや、・・・？

たくぼん氏：

こちらは詰上りが想像できるので難しくない

【第四番】 神無太郎氏作

Messigny 協力自玉詰10手



【作意】

58王 /19 玉 37飛 同角 同角 /57 角 18飛
29玉 同王 /58 玉 28飛 同飛 /18 飛 同飛成
迄 10手

【担当者コメント】

交換してみるしかないので交換してみると合駒するしかありません。2手目の応酬が問題ですが28合同角または同角 /57 角の形にすると自殺位置が難しい事になるので何となく37だと推測できると思われます。37飛合が決まれば以下はこのルールらしい手順で一気に収束します。神無七郎氏も書いているように最後の交換は何となく PWC に似ていると思いました

【短評】

雲海氏：

5手目が結構盲点でした。いまだにこのルールは難しく感じます

神無七郎氏：

最後の交換はまるで PWC を見ているよう。最終手も要注意ですね。太郎氏の一連のシリーズは Messigny の良い手筋の習得になります

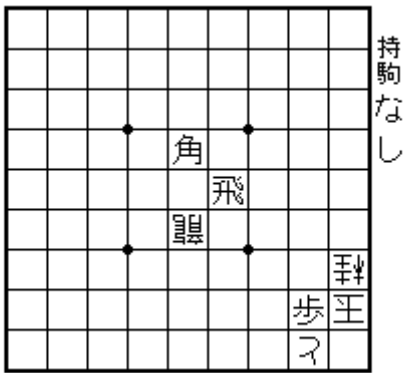
隅の老人 B 氏：

「初手はこれしか無い」のは良いのだが、次の応手で太弱り。この猛暑、明日もあるさで解くのは、中止

たくぼん氏：

Messigny 特有のラストでスピードが上がる。飛合は第一感で当たりよかったです

【第伍番】 真 T 氏作 最悪詰 9 手



【作意】

48飛 45龍 27歩 48龍 26歩 45龍
同角 19玉 18飛 迄 9手

【変化】

初手15飛 (47 飛) は19玉17飛18合同飛
49飛は27金同角19玉29飛同桂成18金

【作者コメント】

狙いは龍のスイッチバック。2手目は打合にしたかったのですが、成生非限定を消すのが大変なのであきらめました

【担当者コメント】

後手は飛か金を先手に渡した形で19に逃げ込めれば詰みます。なので、後手はその形を目指す事になります。初手、角での王手以外に選択肢がない位置に飛車を移動されると27金以下詰んでしまうので飛車は15、47、48の何れかになります。15、47は17飛車の余地があるので早く詰むので開き王手出来る48に引きます。これに対して45龍と移動合して舞台が整います。そして、開き王手連続する事で龍がスイッチバック

すると上記の目標が達成されています。

シンプルな構図で濃厚な手順を実現した短編最悪詰の傑作だと思います

【短評】

雲海氏：

最初は金合かなと思ったが、28金の変化があるため龍の移動合に気がつきました。それにしても、開き王手 (バッテリー作成) →龍の移動合→開き王手 (龍のアンピン) →アンピンで動けるようになった龍で軸駒の飛を取る →開き王手 (同じ軸駒から開き王手 2回!) →再度龍の移動合 (スイッチバック!!) とまあ、こうもすごい手順をこんな少ない駒数&短手数でされたら、もう笑うしかありません。最悪詰のポテンシャルと作者の力量が感じられる作だと思います。ところで普通詰将棋で「開き王手を同じ軸駒から2回以上し、かつ同じ合駒をさせる手順」は可能でしょうかねえ

神無七郎氏：

飛の限定開き王手を合図に始められる華麗なる龍の舞。前作、前々作のような重厚な作品から一転、こういう自在な表現ができるのは、作者が完全に最悪詰を自家薬籠中ものに行っている証拠ですね

隅の老人 B 氏：

難しい。こんな問題を考えると解図の感覚が狂ってくる。きっと、今月のパラ誌の詰棋で苦戦するぞ

たくぼん氏：

いつもの難解さがない反面、手順の美しさはピカイチです

【総評】

雲海氏：

年1回の災厄(?) はできれば回避して欲しくなかったなあと思います。かく言う私も今年も解答を送っていませんが・・・

神無七郎氏：

今回は選題の言葉通りそれほど難解な作はありませんでした。ただ、「1年に一回やってくる災厄」という言葉で「誕生日」を連想したことに、ちょっと自己嫌悪。(誕生日が嬉しくない日になったのはいつからかなあ…)

隅の老人 B 氏：

猛暑の中、涼を求めての解図のはずが、何時のまにやら汗だく。1番が簡単に解けたのが、良くなかった。心頭滅却夏亦涼?、爺は凡人、こんな風にはゆきません

Onsite Fairy Mate 第161回出題解答

開催日 : 2010年 7月 11日(日)
 解答発表 : 2010年 8月 8日(日)

神無七郎 作

取禁協力詰 165手(牛=猛牛)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
香	香	香	香	香	香	香	香	香	六
マ		マ		マ		マ			七
王					金				八
馬			馬		驥		驥		九

持駒 牛

【ルール説明】

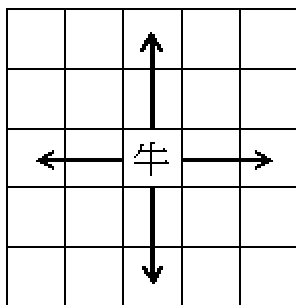
協力詰 (=ばか詰)

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

取禁

詰手順中に駒を取る手があってはならない。
 詰や王手の概念は通常通り。(駒を取れないので王手ではない、などとはしない。)

牛(猛牛)



大将棋の猛牛。縦横に2マス動ける。飛び越え

ては行けない。

(2マスまで動ける飛車とってください。)

この問題では牛は成りません。

また、本局の使用駒は牛1枚と標準の詰将棋の駒です。

【手順】

- 78 牛 89 玉 88 牛 79 玉 89 牛 68 玉
- 88 牛 78 角成 58 金 69 玉 89 牛 79 馬
- 59 金 78 玉 69 金 67 玉 58 金 78 玉
- 88 牛 69 玉 68 金 59 玉 69 金 48 玉
- 68 牛 58 龍 59 金 38 玉 48 金 39 玉
- 38 金 49 玉 69 牛 59 龍 39 金 58 玉
- 49 金 47 玉 38 金 58 玉 68 牛 49 玉
- 48 金 39 玉 49 金 28 玉 48 牛 38 龍
- 39 金 18 玉 28 金 19 玉 18 金 29 玉
- 49 牛 39 龍 19 金 38 玉 48 牛 27 玉
- 28 牛 17 玉 18 牛 27 玉 17 牛 38 玉
- 18 牛 28 と 29 金 37 玉 17 牛 27 と
- 28 金 47 玉 37 金 48 玉 47 金 38 玉
- 18 牛 28 龍 48 金 39 玉 19 牛 29 龍
- 49 金 28 玉 39 金 37 玉 48 金 28 玉
- 18 牛 39 玉 38 金 49 玉 39 金 58 玉
- 38 牛 48 と 49 金 57 玉 37 牛 47 と
- 48 金 67 玉 57 金 68 玉 67 金 58 玉
- 38 牛 48 龍 68 金 59 玉 39 牛 49 龍
- 69 金 48 玉 59 金 57 玉 68 金 48 玉
- 38 牛 59 玉 58 金 69 玉 59 金 78 玉
- 58 牛 68 馬 69 金 88 玉 78 金 89 玉
- 88 金 79 玉 59 牛 69 馬 78 金 89 玉
- 79 金 98 玉 89 金 87 玉 98 金 78 玉
- 58 牛 68 と 88 金 79 玉 78 金 89 玉
- 79 金 98 玉 89 金 87 玉 98 金 77 玉
- 57 牛 78 玉 77 牛 89 玉 87 牛 78 玉
- 88 金 79 玉 89 金 まで 165手

【解説】

本作は空間を調達する問題です。

狭い空間での「取禁」では、どこにどうやって空間を確保し、詰型を作るかというのが問題になります。初形を見ると左辺より右辺の方に空間があるので、まずはここに玉を運ぶことが考えられるでしょう。しかし、右辺で詰めようとしてもまだ空間が足りません。

そこでもう一度左辺に戻ります。もちろんただ戻るだけではありません。右辺に行くときに

動いたのは9段目の飛角だけでしたが、左辺に戻るときには7段目と金も一緒に動かすことができます。つまり一往復することによって、右辺から左辺へ1筋分の空間を移動できたこととなります。左辺には98地点の空き升がある分、右辺で詰めるより有利で、実際「98金」でその効果が現われます。

盤面配置に着目すると、左辺の「97」が埋まっていて、右辺の「17」が空き升であることが、一往復の手順を生み出していることが分かります。配置されている駒ではなく、配置されていない空き升の方が重要なのは「取禁」ならではですね。

また、本作はコメントにもあるように「第8回詰四会フェアリー作品展」第2番と同時期に素材を得た作品で、本来はもう少しストックしておく予定でした。趣向自体は猛牛の「限定走り」を組み込めて満足していますが、序がちよっと淡泊になっているのは気になるところです。今回の出題に合わせて仕上げを急いだのが影響していますね。

【正解者及びコメント】（正解3名：到着順）

たくぼんさん

牛という駒の特徴が掴めないで、ただ直向に駒を動かして全体の流れを読むところから始めた。限定を意識して進めるとそれらしい趣向手順が現れたのでこれは作意の流れと感じた。しかしそこから手詰まり状態に。（かなりの時間が流れた）

というのも収束を28牛27金型と決めつけていたため。（26だけ桂なのでそう思うのが普通でしょ）

しかしどうしてもその収束形に持っていけないし、右に追って行って収束では手数が165手ではなく80手くらいになりそうなのだ。

しばらく考えていると26桂は28牛18金型の詰上り防止駒のようだと気づく。（早く気づきそうなものだ）

ということでもう一度左へ同じような手順に戻って行けば160手くらいになりそうなのでその順を追って収束を見つけてやっと作意に到達。牛と言う駒の特性をうまく生かした趣向作の佳作！！ほんと七郎さんの手にかかるといとも簡単に（実際はかなり苦労されているのでしょうが）ルールや駒の特性を生かした趣向作が生ま

れるのでしょうか・・・

☆ 今回はどうやら難易度の見極めを完全に間違えたみたいですね。作者からすると26桂配置は単なる余詰防止なのですが、これが有力な紛れを発生させ、そちらに誘われた解答者が迷宮に入り込む事態に陥ってしまったようです。昔はこんな際どい紛れがあったらまず間違いなく余詰むので、たとえ不要でも「16歩」を「16と」とするような安全策を取った可能性がありますが、今はfmのおかげで結構大胆な構図が取れるようになりました。解答者にとってはそうでないこともあるかもしれませんが、作家にとってはありがたいことです。

藤田 周さん（初解答）

初めてです。よろしくお祈りします。協力詰はダンスのようで優雅に感じました。

☆ 藤田さんは初解答。本サイトで初解答というより、フェアリーでの初解答かもしれません。解答者わずか3名の出題で正解を入れられるということは、解図力もかなり高いはずですので、今後もどんどん活躍されるよう期待しています。

瘋癲老人さん

行きはこれしかなく帰りはと金を連れての道行きに気づけば楽しく詰め上がる。猛牛を使ったとつき易い啓蒙作ですが解答数は伸びてないようで残念です。

26桂は危なそうな配置なので結構突っついてみましたが何も出ませんね。

☆ 瘋癲老人さんはそれほど苦戦されなかったようですが、やはり26桂は突っついてみたくありませんか。

この26桂は18金までの詰上りを防いだものですが、本図に至るまでにはそれで詰める物もありました。

参考までに下記に一例を示します。

【参考】 18 金までの詰上りを作意にした例

取禁協力詰 63手 (牛=猛牛)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
						王			五
				争	争	争	争	争	六
				争					七
									八
				歩	王	留	留	金	九

持駒 牛

まあ、この図ですと「猛牛」を使う意味があまりない（飛でもそれほど変わらない）ので、ボツになったのですが…

☆ 今回は規則的な趣向手順の作だったので易しいと思ったのですが、この配置のせい、あるいは空間の運搬という主題が見えづらかったのか、解答数は伸びませんでした。

次回は中編を予定していますが、f mでの検討が間に合うかどうか微妙です。別の中編で差し替えるかもしれません。

(2010.8.8 七郎)

詰将棋メモ

推理将棋第 35 回出題解答

担当 タラパパ

出題日 : 2010年7月3日
 解答締切 : 2010年7月20日

推理将棋第 35 回解説 担当 タラパパ

全国大会も無事に終わり、推理将棋も大会デビューしました。
 推理将棋のみならず、スタッフだった皆さま、お疲れ様でした。
 難問揃いにも関わらず今月、なんと 20 名を越える解答をいただきました。
 ただし全解者は激減です (><)

35 - 1 初級 DD++ さん作 角交換の罠 9手

「あら、たった 9 手で負けちゃった」
 「76 歩、34 歩、22 角成、同銀と角交換したとこまでは普通だったのにね」
 「この交換は罠だったのかなあ」
 「そういえばこの将棋、5 筋の手は 51 金しかないんだね」

(条件)

- ・ 9 手で詰み
- ・ 指し始めは「76 歩、34 歩、22 角成、同銀」
- ・ 5 筋の手は「51 金 (棋譜上)」のみ

出題のことば (担当 タラパパ)

後手玉が動いたのは、4 筋でしょうか、6 筋でしょうか？

追加ヒント：

5 手目と 7 手目 9 手目の着手は同じ場所。
 5 手目駒打ち～7 手目駒取り～9 手目駒打ちです。

推理将棋 35 - 1 解答

▲7 六歩、▽3 四歩、▲2 二角成、▽同 銀、▲3 二角、▽4 二玉、▲4 一角不成、▽5 一金、▲3 二金 まで 9 手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	銀		玉	角		科	皇	
二		飛				王	金	銀		
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	
四							歩			
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 なし

初手から 4 手を明かされて実質 5 手でも、なかなか簡単にはいきません。私もけっこう悩みました (笑)

51 金に「右」も「左」もつかないなら、先手の手だろうとの勝手な思い込みが原因。5 筋の手が 51 金だけなら、41 玉に 51 金と打つのか、61 玉に 51 金と打つのか？ さすがに紛れの底が浅いので、すぐにどちらもダメだと分かりますが、一度でもそんなことを考えて貰えれば作者も満足？

51 金は玉方の手なのです。だったらなぜ 51 金右 (左) でないのか？ もう一つの金が取られていなくなっているから。

もともと、5 手目以降に先手が指す手は「角を打つ～駒を取る～取った駒を打つ」しかありませんから、32 角は早晚気付く手・・・ということで、初級問題に最適なのでした。

ミニベロ 「祝！全員正解。5 手詰ですからね。」

■例の 4 手詰「76 角、42 飛、33 角不成、52 玉、42 角不成・・・以下 9 手で詰み」が容易に解けませんから、5 手詰だからって安心はできません。

はてるま 「4手目同銀、普通そうですが推理将棋では意外と見かけませんね。スイリストなら、51金の左右指定がないのが大きなヒント（ズルい読みですが）。実質5手なので初心者にも良心的ですね。」

■普通の手だからこそ見かけない？（笑）

けんちゃん 「「誰でも解けるように」という作者の優しさが嬉しいですね。それに、無理に条件を付け加えるより、最初からこうやって手順をバラしてしまう方がすっきりしますね。案外、これからの主流になるかも。」

■手順を直球でバラすのは勇気が要るのですが、案外イケるやり方かもしれません。

中村雅哉 「広いほうに逃げるような42玉が盲点。実質5手なのに結構考えました。」

■中村さんにそう言われると、42玉がいやにいい手に見えます。

DD++ 「せっかく易しいの送ったんですから、易しいほうから出してくださいよ（笑）トドメに51金と玉腹に打とうとして「あれ？あれれ??」となるのも推理将棋の面白さの1つということで、それを知ってもらうために作った、事実上5手1条件問題でした。」

■先に難しいのを使っておくと、今後の出題が楽だったりして（笑）

はなさかしろう 「"（棋譜上）"は親切ですね。これがなくても5手目の時点で角で金に働きかけるしかなさそうです。51金で角打を限定しつつ63金までの手順も消してぴったりでした。」

■初級用だけに作者も親切設計しております。「5筋の手は51の手のみ」でよい筈なのが。

リーグ戦ファン 「初読で、51金に左右がないのはなんでだ？と疑問に思ったとたん、片方の金を取って腹金まで、の詰め上がり図が頭に浮かびました。解図後に気付いたのですが、この問題、常識的に51金を後手の手だろうとすれば、後手の手は6手目が玉、8手目51金、と全て決まるので、実は先手の3手を考えるだけなのですね・・・。」

■はい、その通りです。

香箱 「これは一目。」

■私はひと目では解けませんでした（泣）

みや 「でどうでしょうか？」

■はい、正解です（^^）

斧間徳子 「9手中の5手を開示されているにもかかわらず、秒殺とはいかず、少し考えさせられました。推理将棋らしい小品。」

■秒殺とみせて秒殺させない。思い込みを利用する一つの手法でもあります。

占魚亭 「初心者（自分のこと）には丁度いいレベルの問題でした。」

■まずはこういった問題から、徐々に慣れていくてくれば。

はらたつと 「これはとっつきやすくていい問題ですね。51金が左とか右とつかないことで、角で金をとってくださいという意味でもんね。ということはわざわざ銀に動いてもらった方（4筋）に玉が動かなきゃソソソソソ。っていう流れで。」

■なるほど、銀のほうに動く筈、まで読みますか。

渡辺 「「棋譜上51金」が鍵。これが先手の場合でも後手の場合でも、先手は原形のままの41又は61の金を取る必要があり、そこから解決。」

■原形のまま、41又は61の金を取ると、先手の51金と連携しませんから、51金は後手と推理できそう。

隅の老人B 「暑さを忘れるには、推理将棋を考えるのが一番。長考、解けて爽快。下戸なので、冷えた麦茶で乾杯！」

■長考・・・そうこなくっちゃ（笑）

たくぼん 「頭4手に51金と5手も分かればすすいのすい～～」

■おっ、なんだかルンルンで冴えてますね。

けいたん 「金に右左がつかないなら、片方取るのだろう…。こんな易しい作品がまだあったのか！」

■しかも取りにいて意味のある駒が他にない点が巧妙。22 銀を取ってもダメ、王手は論外ときは。

superkuppabros 「残り5手が角打→金取り→金打しかかないため、けっこう簡単に解けました。」

■角打→駒取り→駒打なら、止めに使うのは金ですものね。

S.Kimura 「角の左側に金を打つことばかり考えていたので、第一ヒントに救われました。」

■この作品の上手さは、32 への利きを双方で外しに行くところだと思います。第一ヒントが役立つとは思いませんでした(笑)

竹野龍騎 「出だしが決まっていると分かりやすいですね。」

■詰将棋でも、初手が絶対だと解く気が起きまますよね。

正解：21名

S.Kimura さん 斧間徳子さん けいたんさん けんちゃんさん 香箱さん

superkuppabros さん 隅の老人Bさん 占魚亭さん たくぼんさん 竹野龍騎さん

躑躅さん DD++ さん 洞江元太さん 中村雅哉さん はてるまさん

はなさかしろうさん はらたつとさん ミニベロさん みやさん

リーグ戦ファンさん 渡辺さん

35・2 上級 タラパパ作
4枚目の歩 11手

「隣の将棋はあっけなかったな。11手で詰んじゃった」

「先輩も見てました？ボクもしっかり見てましたよ」

「先手は歩を4枚も取ったけど、中でも”同”

のつく手で4枚目の歩を取った時は、指がしなっていたなあ」

「そうでしたね～」

「歩以外の駒取りが、まったくなしに終わるのも珍しい」

「もしかしてそっちの隣？ボクが見たのは不成が3回出たこちら隣なんですけど」

◎先輩の見た将棋

(条件)

- ・ 11手で詰んだ
- ・ 先手が取った4枚目の歩は、”同”のつく着手だった
- ・ 歩以外の駒を取る手はなかった

※ 先手が取った駒は歩が4枚だけとは限らず、”同”が1回とも限りません。

出題のことば(担当 タラパパ)

歩以外の駒を取らずに詰める代表的な手段は？

追加ヒント：

5手目以降先手が指したのは馬の手のみ。

後手玉の腹に角のいる単騎詰を目指してください。

推理将棋35・2 解答 担当 タラパパ

- ▲7六歩、▽6二玉、▲3三角成、▽7二玉、▲4三馬、▽4四角、▲5三馬、▽6四歩、▲同馬、▽6二角、▲5四馬 まで11手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	
二		飛	王	角						
三	歩	歩	歩					歩	歩	
四				馬						
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩4

11 手で先手が歩を4枚取って詰ませるには、どうしても角を働かせないといけません。そして歩を取る手が4回となると、他の手を指せる機会は1手だけ。相当厳しい条件なのですが、最近ある人に教わった順も含めて、先手が4歩取って詰ませる手順が少なくとも4つあります。

歩を4枚取って詰ませるなら、馬単騎か、一度だけ歩を打つか、馬に協力する先手陣の駒と連携するしかありません。このうち「一度だけ歩を打つ」を満たす手順は、(惜しい手順はあるものの)恐らく存在しません。

本作は他の駒の協力を期待しない単騎詰バージョン。単騎詰の場合、玉を上方向から馬で詰ませるなら、後手玉の腹に角がいることが必須条件になります。11手でそれを満たせる位置といえば、12、32、41、52、72あたりが可能(他にあるかどうか?)ですが、先手が歩を4枚取れる場所は1個所だけ。

72玉に64馬の単騎詰に閃くかどうか、それが全てという問題でした。

ミニベロ 「「タラパパ手筋」の角の転換。知っていたからいいものの、次の35-3はお手上げ? 」

■そういえば本作、ミニベロさん出題作を解く過程で見つけた手順でした。

はてるま 「最初12玉のほうかと思ひ苦労しました。馬の横滑りがどことなくユーモラスで、最後じっと寄る54馬も手触り抜群。後手角の動きも妙味があります。単独問題としても素晴らしい出来と思います。」

■12玉は有力な場所ですが、歩が3枚までしか取れません。

中村雅哉 「12玉型が第一感だがうまくいかない。72玉型で詰ますとは意外性十分! 」

■上級はやっぱ第一感を外さない。

DD++さん 「33角成から43馬53馬と寄って65同桂で73の玉を吊るす、とか期待したんですが、さすがに期待しすぎでした。残念。しかし、この会話の最後に見覚えがあるような、なんでだろう(笑)」

■65桂を跳ねて4歩取る順はありますが、さすがに65同桂で吊るし詰は期待しすぎ(笑) 会話に見覚えが? そ、そ、それは...思い過ごしでは...ないかと。

躑躅 「条件からまず馬単騎が思い浮かんだので、こちらは簡単でした。」

■はじめからバレていたんですね。

はなさかしろう 「まず馬単騎を探してみたくなるところ。72玉型なんですね。後手の手順限定の鍵になる64歩を極力後ろに引っ張ることで、奇妙な玉の早逃げと角のアシストの絶妙なタイミングが際立ち、実に優美な手順でした。」

■72の単騎、ちょっと飛躍した発想が要るかも。

リーグ戦ファン 「問3が先に解けた私はかなり変わり者でしょうねえ。(経緯は問3の解のところ・・・)こんなにシンプルな単騎詰めだったとは。「今回は問2も問3も上級」という変なところに気づいてしまったのが最大の敗因かも知れません。」

■もしかして「中級」と謳えば、もっと簡単でした?

香箱 「馬で合い利かずの詰上がりしかないだろ、と72玉62角の形はすぐ見えました。3問目のことを思えばそうともいえなかったわけでラッキーでした。馬と角が絡み合うような動きが面白い。」

■それが見えてしまったら、ほとんど秒殺ですね。閃きの勝利。

斧間徳子 「以前、これと類似の手順で推理将棋を作ろうとし、うまい条件付けができなくて断念したことがありました。本作の条件はうまい! 」

■いかにもぶつかりそうな手順でしたが、やはりありましたか。

はらたっと 「4つ目の歩取りが同歩で後手の手順前後を解消するという条件がいいですね。とっておいて35-3が出来てないので楽しさ半減です。」

■「王手3回+持駒4歩」のほうが普通なのでしょうが。

渡辺 「綺麗ですね。「歩以外取らない」は親切なヒントだが「金は取らない」だと次の問題の詰め上がりが分ってしまうのでそのあたりのバランスか。」

■難問なので、解き易そうなことも考えました。「金は取らない」には思いつきませんでした。

隅の老人B 「問題を読んで、次はヒント。幾度も幾度も読みました。手順が決まっても、まだ不安。もう1回読み返す。」

■手順が決まれば不安が消えるのが推理将棋なのですが・・・。

たくぼん 「ヒントもらっても最終手に歩を取ることばかり考えて悪戦苦闘。作者を喜ばせるなあ～～」

■はい、喜んでます。相手がたくぼんさんだけに(^^)

S.Kimura 「馬の単騎詰は割と早く浮かんだのですが、62に桂馬を打とうとしてはまりました。よく考えると馬が桂馬で取られますよね。」

■単騎詰の基本は玉腹に”角”ですから(笑)

竹野龍騎 「タラパパ作はちっとも見えず(泣)」

■竹野さんの作が、私になかなか見えない。お互い天敵だったりして(^^;

正解：15名

S.Kimura さん 斧間徳子さん
けんちゃんさん 香箱さん 隅の老人Bさん
たくぼんさん 躑躅さん DD++さん
中村雅哉さん はてるまさん
はなさかしろうさん はらたっとさん
ミニベロさん リーグ戦ファンさん 渡辺さん

35-3 上級 タラパパ作 小金持ちII 11手

「隣の将棋はあっけなかったな。11手で詰んじゃった」

「先輩も見てました？ボクもしっかり見てましたよ」

「先手は歩を4枚も取ったけど、中でも”同”のつく手で4枚目の歩を取った時は、指がしなっていたなあ」

「そうでしたねえ～」

「歩以外の駒取りが、まったくなしに終わるのも珍しい」

「もしかしてそっちの隣？ボクが見たのは不成が3回出たこちら隣なんですけど」

◎後輩の見た将棋

(条件)

- ・ 11手で詰んだ
- ・ 先手が取った4枚目の歩は、”同”のつucking手だった
- ・ 不成が全部で3回あった

※ 先手が取った駒は歩4枚だけとは限らず、「同」が1回とも限りません。

注) 推理将棋35-2との連作。合わせてご参照ください。

出題のことば (担当 タラパパ)

会話のニュアンスからは、歩以外の駒取りもあつたようです。

追加ヒント：

11手の中に駒取りが7回あります。

5～11手の7手に「空所に駒を動く手」はなく、駒を打つ手があります。

推理将棋35-3 解答 担当 タラパパ

▲7六歩、▽4四歩、▲同 角、▽4二飛、
▲5三角成、▽4七飛不成、▲6三馬、▽4八歩、▲同 飛、▽3七飛不成、▲4一飛不成
まで11手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	爵	王	飛	爵	科	皇		
二								馬		
三	歩	歩	歩	馬			歩	歩	歩	
四										
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩		歩	歩	歩	
八										
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 金歩4

自作「小金持ち」の第二弾。問題文では謳っていませんが、最後に先手の持駒が5枚になります。実はタイトルも隠しヒント。しかも本局では先手が5回、後手が2回、双方合わせて駒取りが7回と、文字通り駒取り三昧です。

問題を解くにあたっては「不成3回」が鍵になると思います。歩をたくさん取るには角不成はあまりに不自由。不成3回はすべて飛車なのです。しかし、これだけではどう攻めたらよいか、途方に暮れる難問だと思えます。それでも追加ヒントを活用すると、難渋でもなく論理的に解けるのです。

1～4手で駒取りが2回では先手の角が取られてしまうので、ここでの駒取りは1回。追加ヒントから、5～11手は駒取りが6回、駒打ちが1回。

5手目以降に「空所に駒を動く手」はないのですから、4枚目の歩を先手が”同”で取るなら、取られた後手の歩は「駒を取って動いた歩」か「打った歩」になります。後手が歩で駒を取ることはありえませんが、それは「打った歩」です。「打った歩」を”同”で取って、攻撃に使える駒は飛車しかなく、飛車が横に動いた時に「打った歩」を取ったのです。11手目は詰みの手ですから、飛車が横に動いたのは9手目です。6手目は歩を取る手（飛車しかあり得ない）、8手目は歩を打つ手。9手目が”4枚目の歩”を取る手なら、次の手順に絞られます。

(1) 「76歩、32飛、33角成、42金(or銀)、43馬、37飛不成、53馬、38歩、同飛、??飛不成、??飛不成 まで」

(2) 「76歩、32飛、33角成、王手を受ける、23馬、37飛不成、13馬、38歩、同

飛、??飛不成、??飛不成 まで」

(3) 「76歩、44歩、同角、42飛、53角成、47飛不成、63馬、48歩、同飛、??飛不成、??飛不成 まで」

(1)(2)は詰手順にほど遠く、(3)の手順で63馬と連携する41飛不成までの作意が導かれます。

先行の「小金持ち」もそうなのですが、先手が5枚の駒を取る急所は4筋です。48に打った歩を飛車で取る。う～ん、さすがに想像がつきにくいですね。

ミニペロ 「これは見えない！ 私が担当していたときの「12・3 上級タラパパ作 小金持ち 11手」を頼りにやっと解きましたが、行き倒れ続出でしょう。不成り3回なのにいきなり「成り」が作意では、解きようがありません。「△3七飛不成」など小粋な限定ですね。」

■タイトルに注目してくれるとは嬉しいですねえ(^^)

はてるま 「こちらは一転ダイナミックな構図。後手の不成が必要そうだとわかれば、44歩～42飛の出だしはなんとなく想像がつきますが、次の53角「成」が「不成3回」の条件があるだけにやりづらい。ここをクリアして霧が一気に晴れました。とどめが不成なものニクいですね。4枚目の歩の取らせ方が巧妙で、組み問題ならではの妙着となっています。」

■作者としても48歩からの呼吸は気に入っています(^^)

中村雅哉 「これは難問。大駒の華麗な応酬が素晴らしい。」

■ヒントをもう少し考えるべきだったかも。無解者がだいぶ出てしまいました。

DD++さん 「まさかの2手目44歩からですか。直感的には後手の手を無駄に使う感じがして候補から除外していました。玉周辺をいじらなくていいのでこれで足りるのですね。」

■2手目32飛を読まれました？そうでなくちゃ。王手をかけずに済む点が、44歩のメリットで、「小金持ち」も44歩から居玉でした。

躰躰 「48歩から37飛不成がなかなか見えませんでした。」

■すつと横に逃げるこの感覚が好きなのです。

はなさかしろう 「馬単騎や上段玉では不成の回数が稼げないので本命は先手飛車の参戦。後手の4筋飛車は6筋角と並んで先手歩の壁を破る有力手筋なのですが…。48歩が苦手な手でなかなか見えず悩みました。37飛不成、手ざわりの良い手ですね。」

■いきなり飛車の参戦に気付くとは流石です。6筋角ってアレですね。4枚目を48で取るのは面白いでしょ？

リーグ戦ファン 「わりとすぐに脳内で▲76歩▽44歩▲同角▽42飛▲53角成▽47飛成▲63馬▽32金▲42歩▽41歩▲同歩成を発見。これが2番の解だと思い込んだところから話が始まります。後手47飛車をどこかで4筋に先手飛車を走らせれば問3にも転用できそうだと、言う経緯で、そのまま3番が解けてしまいました。最後に47飛の行き先が37しかない(4筋では不詰)ことを確認した折、やっと先述の手順が不詰であることに気付くオソマツでした。」

■なんか、ズルしてませんか？(爆) お示しの順、成立していたら綺麗なのですが……。

香箱 「こいつは苦戦。4枚目の歩は敵に打たせたものだと気づくまで難渋。その後も敵角には触らず世に出すのは敵飛だとなかなか思い至らず。」

■満を持して出題した難問ですから。それにしても、これをいきなり解かれるとは！

斧間徳子 「本問、久しぶりに骨のある問題で相当考えさせられました。先手駒だけで不成3回は難しいので、後手駒による不成を考えたのですが、まず88(99)角不成はうまくいかず、次に32飛～37飛不成の筋も足りないと判明。そこでようやく、42飛～47飛不成に思い当たりました。簡素な条件にして濃厚な手順の佳作。」

■ありがとうございます。

渡辺 「なるほど、先手の軌道上に無理矢理歩を置いて条件を満たす訳ですね。急いで生を稼ごうと53角生などとすると失敗なので、生を稼ぐために後手の飛車に活躍してもらいます。」

■はい、11手で先手5枚駒取りでは48での駒取りは必須ですから。他にいと面白いのですが。

隅の老人B 「ギブアップ。暑いよーう、やめたーと。」

■猛暑を更に猛暑にしまして、すいません <()>

たくぼん 「まさか最後の1枚が48歩とは……打つ手ありのヒントでやっと閃きました。傑作でしょう」

■その二文字、ありがとうございます。

S.Kimura 「ぎりぎりまで考えていますが、分かりませんでした。後手の飛車が先手陣で不成をする手も考えましたが、不成3回が達成できそうにありません。ヒントを2つも戴いたのに残念です。正解を楽しみにしております。」

■後手の飛車が先手陣で不成。そこまでお考えなら、もう一歩でした。

正解：13名

斧間徳子さん けんちゃんさん 香箱さん
たくぼんさん 躑躅さん DD++さん
洞江元太さん 中村雅哉さん はてるまさん
はなさかしろうさん ミニベロさん
リーグ戦ファンさん 渡辺さん

総評

ミニベロ 「あまり「易しい」とぼやくところなる。次回が恐ろしい！」

■全解者数は大幅に減りましたが、解答者数が減らなかったのが、次もありかと(笑)

中村雅哉 「いずれも佳作でした。特にタラバ氏2作は好手順なだけに、「"同"のつく着手」といった苦しい条件を使ってむりやりツインにしたのは惜しい気がします。」

■35-3、本来なら「先手は4歩+1枚取った。成る手は一度」くらいの感じでしょうか。

DD++ 「物足りないのであれば、20手台の

難問送りましょうか(笑)(笑)(笑)というのは冗談として、3~4ヶ月に1問くらい、4問目で本気の難問(上級のさらに上)がある、というのも物足りなさを解消するにはいいのかもしれないですね。」

■本気の難問を検討してもいい頃かもしれませんね。番外扱いとか…。11手くらいの作品になると、私も解けない作品がごろごろありますし(泣)埋もれるには惜しい"傑作!"と叫びたくなる作品も。

はなさかしろう 「今回も最速の提出を心掛けたのですが既に先を越されてしまいました。ほどよい難しさはパズルの重要な要素と改めて思いました。難しければ良いわけではなく、小品には小品の良さがありますし、条件の分かりやすさや叙述トリックの有無、手順が素直か変化球か、といった他の要素とのバランスが良いと解き心地も良いようです...自戒反省。今回の問題は、難しさという意味ではもう少し行けるかなと思いましたが、作者の方の作風があるように、解くほうにも得手不得手や手の好みがあるようです。見えない手は本当に見えないですね。」

■おっしゃる通りですね。その昔、インベーダーゲームが流行ったのは、攻略の難しさのお陰だったといえますし。

リーグ戦ファン 「2・3のツイン問題は無駄のない素敵な手順と条件ですねえ。かなりお気に入り。10手目▽*歩打+ 11手目▲同*まで、が実現したらもっと素敵だったと思うのですが(シツコイ)」

■11手で最後の2手が「〇〇歩、同歩成」は、43と63地点しかできない?

みや 「初めて応募します。初級しか解けませんでした。しかも最初の4手はわかっているので実質5手詰め……。これからもっと難しいのも解けるようになりたいです。」

■初解答ありがとうございます。よりによって難問揃いの月でスイマセン。

斧間徳子 「最近はやさしい問題の出題ばかりで少し物足りなかった。毎月3問目の問題は、今月の3問目くらい骨のあるものにしていただけたらと思います。」

■ぐぐっ!ま、毎月ですか(汗)
占魚亭 「この手のパズルは苦手なのですが、1題だけ解けたので解答を送ります。」

■1問解答ってとても嬉しいんですよ。苦手というのに、ありがとうございます。

渡辺 「大会でおもちゃ箱の話題が出て、今月解答を出すのを忘れていた(どころか問題を見てすらない)ことに気付き、昨日慌ててときました。」

■全国大会お疲れ様でした。難問のはずなのに、一日で解かれてしまいましたか。

隅の老人B 「梅雨が開けたら、暑い暑い。心頭滅却すれば何とやらで、推理将棋に涼を求める。35-3が解けない、ますます暑い、で、ついにギブアップ。大会も無事に閉幕、速報を楽しみに拝見しました。この暑さのなか、遠路はるばる、ご苦労様。」

■TETSUさん、大会速報ご苦労さまでした。Bさんも暑くなる問題にチャレンジ、ご苦労様でした(汗)

superkuppabros 「先日、推理将棋の賞品の本が届きました。どうもありがとうございます。お礼が遅くなり、申し訳ありませんでした。推理将棋、上級問題には全く手がつきませんでしたので、初級の1問解答です。」

■いい本を手に入られましたか?

洞江元太 「2問だけ出来たのでもし間に合うようならお願いします。」

■全国大会でお会いできましたね。初解答では、ふつう35-3は解けないのにお見事でした。

推理将棋第35回出題全解答者： 21名

S.Kimuraさん 斧間徳子さん けいたんさん
けんちゃんさん 香箱さん
superkuppabrosさん 隅の老人Bさん
占魚亭さん たくぼんさん 竹野龍騎さん
躑躅さん DD++さん 洞江元太さん
中村雅哉さん はてるまん
はなさかしろうさん はらたつとさん
ミニベロさん みやさん
リーグ戦ファンさん 渡辺さん(当選)

～1手詰?コンクール～ 追記の追記

担当：神無七郎

「1手詰?コンクール追記」で【課題A】のNAO氏作に対する雲海氏の改作案を紹介しましたが、NAO氏ご自身も様々な図で記録更新に挑んでいます。現在のところ67手を越えるものは生まれていませんが、雲海氏の改作案にあった難点（同手数別詰）の排除に成功した図が登場しましたので、ここで紹介します。

NAO氏作

1手/67手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
										▲なし
									龍	二
								皇		三
							皇			四
						皇				五
					皇	皇				六
					玉	皇	皇			七
							皇	皇		八
					皇	王	角	龍		九

- 1) 32龍 まで 1手
- 2) 32龍 33歩 同龍 34歩 同龍 35歩
同龍 36歩 同龍
「38歩 同角 29銀 同角」×4
「38歩 同角 29金 同角」×4
38桂左成 同角 29歩成 同角
「38歩 同角 29香成 同角」×2
38歩 同角 29桂成①同角 38歩 同角
29香成 同角 38歩 同角 29角②同角
38桂成 同龍 まで 67手

【紛れ】

- ①57手目 27角以下の詰手順（手数超過）
27角 38角 同龍 同桂成 29龍 同玉
19金 同玉 18金 29玉 19金以下詰むが、
67手を超過
- ②63手目 28銀以下の詰手順（手数超過）
28銀 同香成 同龍 同玉 18金 29玉
19金 39玉 以下詰むが、67手を超過

「打合」を主とした従来の「1手詰?」と異

なり、本図では「移動合」が最大限に用いられています。これは、序盤は盤上の強力な配置で早詰を防ぎ、終盤は手数超過を利用して移動合で逃げ切るという狙いです。確かに、新記録が生まれるとしたら、移動合を活用する路線が一番有力に思えますね。

2)の方の手順で重要なポイントは2つあります。一つは最後まで角合を残すこと、もうひとつは17桂の移動合のタイミングです。（手順中下線で強調した手。）前者は強力な駒をなるべく渡さないということと、49角で成桂を取る紛れに対して38角の逆王手で逃れる目的があります。後者は63手目の紛れを読まないと意味が分からないと思います。つまり63手目28銀の紛れにあるように、香2枚を盤上に残さない余詰になってしまうのです。普通詰将棋的な観点から言えばこれは希望限定なので、あまり味が良くありませんが、本課題ではあまり問題視する必要はないでしょう。

というわけで、現時点で【課題A】の記録は「1手/67手：NAO氏作」です。今後も記録の更新や、異なる構図での記録作が出てくれば、随時紹介していきたいと思います。

余録1：前記事への追記

「1手詰?コンクール追記」の記事で雲海氏の改作案の最終手余詰について言及していますが、その後最終3手目にも同手数別詰があることが分かりました。63手目17角の代わりに73角成などとしても良いという簡単な筋です。

読者の中に「合駒すれば手数超過でセーフになるのでは?」と思った方はいませんか?実は担当もそう錯覚していました。この局面は後手に持駒がないので合駒は打てないのです!（受けは香の移動合しかないので同手数になる。）

結論として63手目はどこに角を移動してもよく、角を成った場合には相手の27香移動合に対して馬を縦に使う（これに対しても合駒がない）という別の筋も生じるので、合計の非限定数はかなり多くなります。課題設定自体には抵触しませんが、少々スッキリしない結果となってしまいました。

余録2：柿木将棋の本課題での利用法

柿木将棋には無駄合の概念があり手数超過の余詰も検出するので、そのままでは【課題A】の検討には向きません。でも検討に役立たないわけではありません。無駄合を有効合扱いするのは無理ですが、設定を変えれば手数超過の余

詰を検出しないようにすることはできるからです。それは余詰検討時のオプションで「方式：短手数用」「手数制限：作意に対して+0手まで」を指定することで実現できます。
(赤枠内の2箇所)

余詰を調べる

手数制限

作意に対して
+ 0 手(偶数)まで

常に 116 手(奇数)まで

成/不成の違いは調べない(N)

時間制限をずらす(T) 900 秒(局面毎)

進行度制限をずらす(P) 1024

各局面で複数の余詰を検出する(E)

方式

短手数用(S): 最短の詰みを調べる<低速>。

長手数用(L): 長手数の詰みを検出可。

調べる順序

詰み上がり局面から調べる。

現局面から調べる。

OK
キャンセル

この設定でも無駄合絡みの余詰は検出してしまいましたが、検出される解の数が大幅に減るので、目視で本当の余詰なのかそうでないのか確認する作業がかなり楽になります。柿木将棋をお持ちで、本課題に挑戦される方は試してみてください。

念のために書いておくと、余詰を調べる前に作意は手動で入力する必要があります。(柿木将棋は無駄合を省略しますから当然ですね。)

以上



妖精賞の系譜 (13)

第 17 回 妖精賞 (2004年)

この期は、担当者の片岩氏の選考によって妖精賞が決定しました。投票はこれ以降は行われておりません。

【短編部門】

詰将棋パラダイス 2004 年 3 月号

勇者ロト 作

背面ばか詰 9 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
								ス	二
							王		三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 歩

24 歩 22 玉 23 歩生 21 玉 22 歩生 23 角
11 歩生 22 玉 21 歩生 まで 9 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							歩		一
							王	ス	二
							馬		三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

片岩裕貴 (妖精賞発表時コメント)

短編部門の勇者ロト作は極めてシンプルな初形から 4 連続歩生という奇跡的な作品です。

解説 (片岩裕貴)

種も仕掛けもないように見える初形から、あっと驚く 4 連続歩生が飛び出します。玉の頭を塞いでしまえば尻歩で詰むというのがその種明かしです。

神無太郎

超簡素な初形から驚愕の 4 連続歩生。今期の妖精賞。

★ 日頃あまり声に出さない太郎さんが妖精賞と叫んでいるところに本作の素晴らしさが良く分かります。特にこの簡素な形から意表を突く 4 連続歩生の順が表現できたことが驚きに値します。

【中編部門】

詰将棋パラダイス 2004 年 11 月号

神無七郎 作

対面ばか自殺詰 30 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							歩	王	一
									二
					龍		王		三
							龍	歩	四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

13 龍 21 玉 12 龍 11 香 同龍 同玉
13 香 21 玉 12 香成 11 飛 同杏 同玉
13 飛 12 香 同飛生 21 玉 22 飛生 11 玉
13 香 12 角 同飛生 21 玉 22 角 43 玉
44 角成 同玉 42 飛成 35 玉 33 龍 32 角
まで 30 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						香			一
						馬			二
						龍	王	香	三
								歩	四
						王			五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

片岩裕貴（妖精賞発表時コメント）

中編部門は作品数が少なかったのですが、受賞作の神無七郎作は形・手順とも完成度の高い作品です。

片岩裕貴（担当）

右上にコンパクトにまとまった初形なので、これが30手かかるとは想像がつかかぬところですが、実際に手をつけてみると意外に手が狭いことに気付かれるはず。まず、最初の6手で24龍を持駒の香に換えます。そして、次の6手で持駒の香を飛に換えます。なぜこのような手続きを踏む必要があるかというと、

13龍あるいは13香の形では12合を同〇と取れないので、12合を出すためには13飛の形にしなければならないからです。13飛ならば12合を同飛生と取れば手が続きます。その待望の12合は香合が正解。単に12角では同飛と取れません。香合を取ったら22飛生で再度11に玉を戻して、13香として今度は角合。22飛があるので同飛生と取れます。角を手に入れた後は収束ですが、22角から外へ展開して行きます。最後はよくある「龍に角対」の詰上りですが、収束用の駒を置かずに仕上がっているのに感心させられます。

駒井信久

20手目は桂合かと思った。角で玉を出すとは意外。

市村道生

22桂等の平凡な終形はNG。そこで、発想の転換。

★ 当時の正解者5名。お互いの玉が近いところに置いて見事に合駒を限定させている。収束用の配置も置いていないところもさすがです。最近はこの手の作品を余り見かけなくなりましたね。

【長編部門】

詰将棋パラダイス 2004年6月号

森茂作 ばか詰 12555手「龍の顎」

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
						馬	皇	皇	馬	一
銀	金	金		香		龍	龍	歩	二	
	香	科	爵	爵	王		爵		三	
	香	香		香	入			香	四	
			香	入					五	
				王				入	六	
	歩				科				七	
歩				入	香	入	皇	桂	八	
		歩	歩	入				入	九	

持駒 桂歩

47歩 57玉 58歩 同玉 59歩 47玉
「39桂 36玉 23王 25玉 33王 35玉 23王 33歩 27桂 25玉 33王 36玉 23王 27玉 33王 36玉 23王 25玉 33王 35玉」
(=C)
「23王 33桂 36歩 25玉 33王 36玉 23王 27玉 33王 23歩 39桂 36玉 23王 25玉 33王 35玉 23王 33歩 27桂 25玉 33王 36玉 23王 27玉 33王 36玉 23王 25玉 33王 35玉」 (=A)
23王 33桂 36歩 25玉 33王 36玉 23王 27玉 33王 23歩 39桂 36玉 23王 25玉 33王 35玉 36歩 同と 47桂 同と
A、
23王 33桂 36歩 25玉 33王 36玉 23王 27玉 33王 26と 39桂 36玉 23王 25玉 33王 35玉 36歩 同と 47桂 同と
A、A、
「23王 33桂 36歩 25玉 33王 36玉 23王 25玉 33王 35玉 36歩 46玉」 (=B)
58桂 同と 47歩 57玉 58歩 56玉 57歩 45玉 46歩 36玉 23王 25玉 33王 35玉
「A、A、B、47歩、同玉、C」 (=M)

「A、A、A、B、47歩、57玉、58歩、47玉、C」(=N)

A、A、A、B、
47歩 56玉 57歩 67玉 68歩 77玉 78歩
76玉 77歩 85玉 86歩 96玉 97歩 95玉
96歩 94玉 95歩 93玉 85桂 同歩 94歩
84玉 85歩 75玉 76歩 66玉 67歩 55玉
56歩 45玉 46歩 36玉 23王 25玉 33王
35玉

「A、A、
23王 33桂 36歩 25玉 33王 36玉 23王
27玉 33王 23歩 39桂 36玉 23王 25玉
33王 35玉 27桂 46玉 47歩 56玉 57歩
45玉 46歩 36玉 23王 27玉 33王 36玉
23王 25玉 33王 35玉 M N」(=T)

A、A、A
「23王 33桂 36歩 25玉 33王 36玉 23
王 27玉 33王 23歩 39桂 36玉 23王 25
玉 33王 35玉 27桂 46玉 47歩 56玉 57
歩 67玉」(=D)

68歩 76玉 77歩 66玉
「67歩 55玉 56歩 45玉 46歩 36玉 23
王 27玉 33王 36玉 23王 25玉 33王 35
玉」(=E)

T A A A D 68歩 77玉 78歩 66玉
E
(基本形からここまでをW7とする)

T A A A D
68歩 76玉 77歩 85玉 86歩 75玉 76歩
66玉
E

(基本形からここまでをW8とする)
W7
T A A A D
68歩 76玉 77歩 86玉 87歩 75玉 76歩
66玉

E
W7
T A A A D
68歩 76玉 77歩 85玉 86歩 94玉 95歩
84玉 85歩 75玉 76歩 66玉

E
W8 W7
T A A A D
68歩 76玉 77歩 85玉 86歩 95玉 96歩
84玉 85歩 75玉 76歩 66玉

E
W8 W7
T A A A B
47歩 56玉 57歩 67玉 68歩 76玉 77歩

85玉 86歩 94玉 95歩 93玉 85桂 同桂
94歩 84玉 85歩 75玉 76歩 66玉 67歩
55玉 56歩 45玉 46歩 36玉 23王 25玉
33王 35玉 23王 33桂 27桂 25玉 33王
24金 17桂 14玉 26桂 迄 12555手。

詰上図

						馬	皇	皇	馬	一
銀	金	金		香		龍	龍	歩		二
	香		馬		馬	王		馬		三
歩		歩		歩	入		香	王		四
	歩		歩							五
		歩		歩	歩		桂			六
			歩			科	桂	桂		七
						歩	入	皇		八
						入			入	九

持駒なし

片岩裕貴 (妖精賞発表時コメント)

長編部門はなんと言っても超大作の森茂作を外すわけにはいきません。「寿限無」の改良図の存在はありますが、それまでの完全限定のばか詰の長手数記録を大幅に更新しただけではなく、謎解きの魅力もある素晴らしい作品です。

なお本図の解説は、OFMのページの詰パラ結果稿再録をお読みください。

http://www.abz.jp/~k7ro/report/agito_para.html

★ 正解者はわずかに3名。私も結構力を入れて解図に臨んだが結局正解には辿り着けなかった。森氏お亡くなりになられただけに解けなかったことが本当に残念に思います。駒井氏は1日で解いたと知り世の中にはすごい人もいます。今一度解説を読みながら盤に(ソフトに)並べて見ようと思います。皆さんも是非!

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

9月6日(月)

Onsite Fairy Mate 162 回出題
*キルケ協力白玉詰 1 題

9月15日(水)

第25回WFPフェアリー作品展

Fairy of the Forest #24
*協力詰 7 題

この詰将棋はすごい? 問題編

10月3日(日)

JIGSAW BOX #5
*フェアリー作品 6 題

.....

新約・神話大全について

(妖精都市より転載)
来年発行予定のフェアリー詰将棋作品集「新約・神話大全」に参加者募集中!

構成:
基本的には「神話大全」の構成に倣い、参加者の個人作品集集としたいと思います。

公開:
2011年4月公開予定。
電子版での公開を基本とし、参加者の希望が多ければ簡易製本版の作成も考えようと思いません。

参加:
参加希望者は神無太郎宛のメールで一言を添えて参加意思を表明してください。
できれば、個人作品集の題名もお願いします。
最低遂行人数10名、できれば20名集めたいですね。
⇒状況も変わってきているので、これは再募集としたいと思います。「一言」は不要ですが、「個人作品集の題名」はぜひ。

⇒「森茂集」も収録したいので、「森茂集」執筆担当も募集します。

収録対象:
個人作品集への収録作は2001年1月1日から2010年12月31日までに発表した自作フェアリー詰将棋から選択してください。
⇒「森茂集」に関しては執筆担当にお任せします。

収録数:
合計で100局収録が目標です。
一人当たりの収録作品数は、参加人数に依存して決めたいと思います。
⇒よく考えたら、一人当たりの収録作品数が決まっていないというのはやりにくいですね。
一人当たり10局収録を基本に、最低でも半分の5局、多くても倍の20局までの範囲とします。ご自由に自選ください。

編集は神無太郎が行いますので、どうぞ皆さん、サンプルを参考にして原稿をお送りください。一応原稿締切りは年内としておきます。

現在までの参加表明リスト(作品)

- ・ 神無太郎
- ・ 神無七郎
- ・ たくぼん
- ・ 森茂(担当:神無七郎)
- ・ 神無三郎
- ・ 荻絵香木
- ・ 小峰耕希
- ・ もず
- ・ 雲海

参加者募集中です。是非参加を・・・

2010年 第26号

Web Fairy Paradise

非売品
平成二十二年八月号
平成二十二年八月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市
発行兼編集人 須川卓二
発行所 Web Fairy Paradise 編集部
問合せ先
須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp